

鎌倉市における 戸別収集のあり方について

方針
(素案)

鎌倉市

はじめに（戸別収集について）

戸別収集とは…

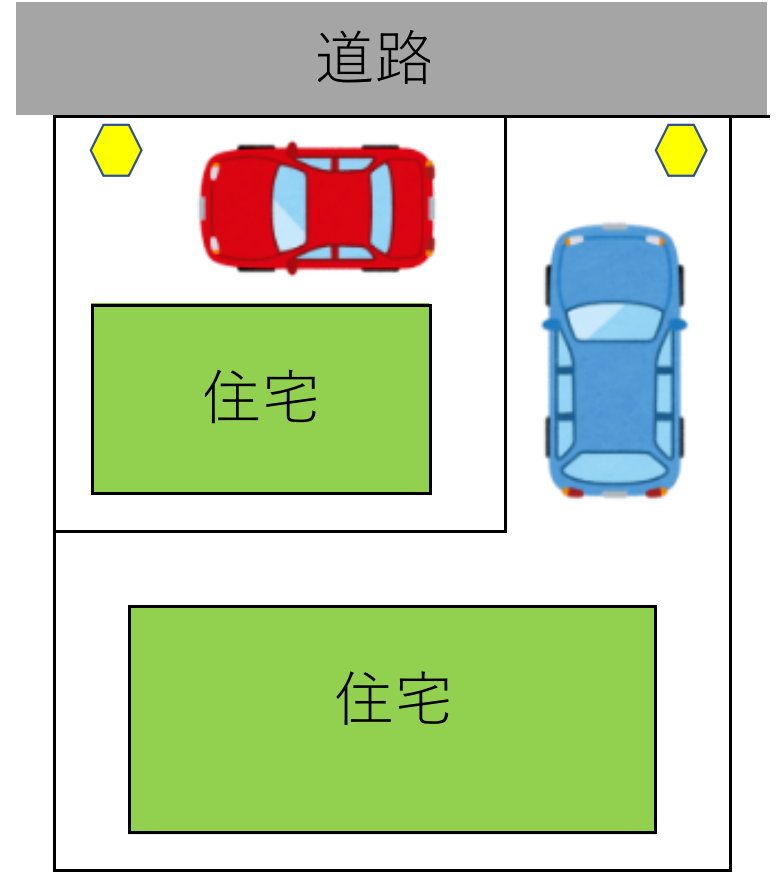
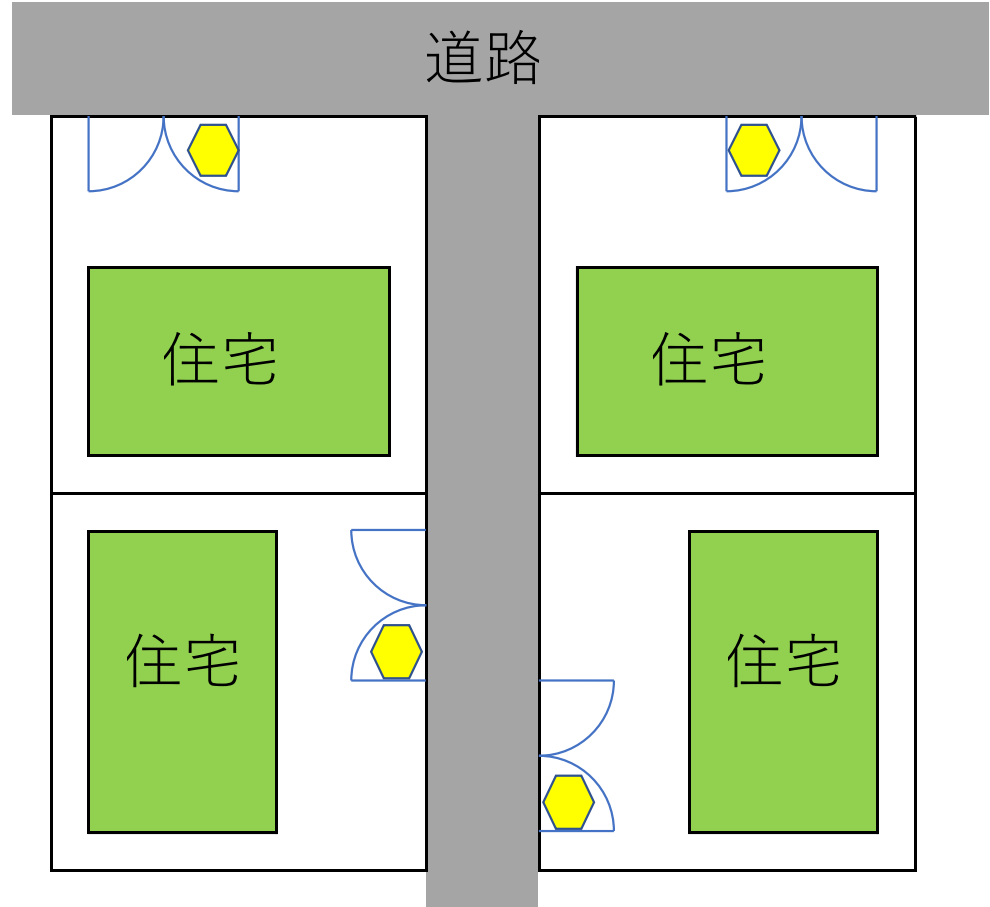
建物ごとにごみを収集する制度

第3次一般廃棄物処理基本計画

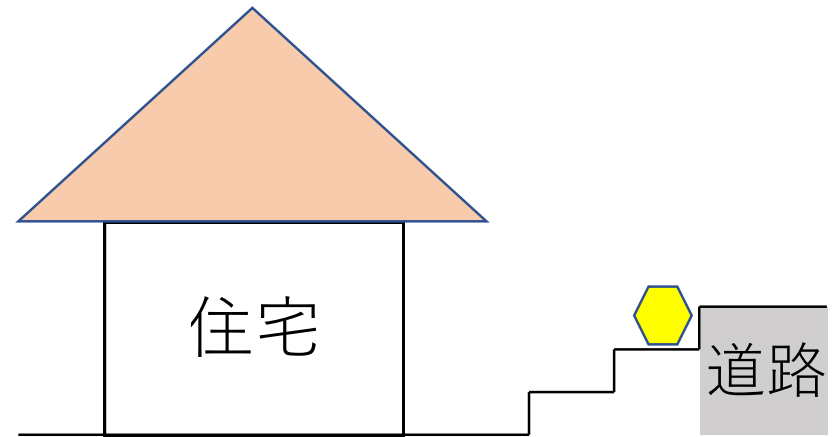
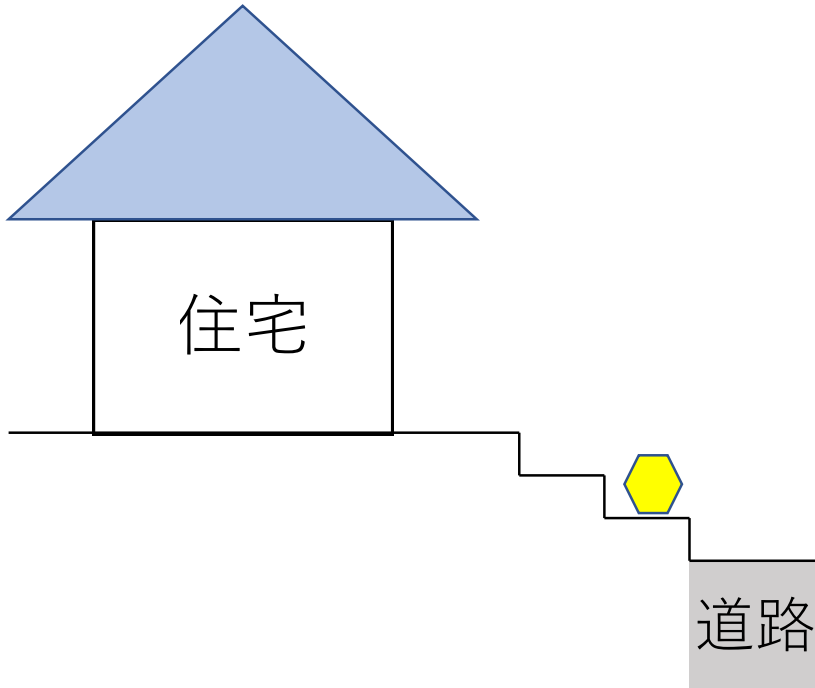
（H28.10策定 R3.6改定）

の中で、市民サービスの向上に寄与する施策としてその事業実施について検討することを明記

排出場所



排出場所



(これまでの取組み)

平成25年5月

家庭系ごみの戸別収集・有料化等及び事業系ごみ処理手数料の改定等実施計画を策定

市内3地区をモデル地区として先行実施・全市での事業展開を計画

戸別収集+有料化・・・排出者責任の明確化、経済的インセンティブ
⇒ごみの削減

費用に対する
削減効果

更なる
市民理解

⇒戸別収集の全市実施を見送り
(有料化のみ実施)

昨今

高齢化が進み、ライフスタイルが多様化する中で、
⇒**クリーンステーション収集に伴う様々な負担を軽減し、
住民福祉を向上する持続可能な収集方法として**

戸別収集の実施を改めて検討



令和5年1月

「鎌倉市における戸別収集のあり方について」

審議会（有識者や関係団体の代表者が委員）に正式に意見を求める

家庭系ごみの戸別収集の導入実施について

(1) 必要性と意義

クリーンステーション収集における現状の課題

- ・ 高齢化や多様なライフスタイルへの対応
- ・ ごみ出しに伴う様々な負担の軽減

2025年問題

団塊の世代800万人が75歳以上の後期高齢者となる。現在、適切な維持管理がされているクリーンステーションでも、将来的に高齢化や転入転出により、維持管理が困難になるおそれがある。

(1) 必要性と意義

戸別収集になると・・・

クリーンステーション収集に伴う様々な負担軽減

- ・ 高齢者や子育て世帯、多様なライフスタイルのもとで生活する市民のごみ出し労力を軽減
- ・ クリーンステーションの維持管理にあたって生じる負担軽減

ごみの減量

- ・ 個々の世帯が分別を意識して自宅前にごみや資源物を排出することで更なる減量、資源化に繋がる

今後、益々高齢化やライフスタイルの多様化が進展した場合にも、安定かつ継続的なごみや資源物の排出と収集を確保しなければならない
⇒戸別収集を実施できる体制を速やかに確保しなければならない

(2) 現行の収集における課題と戸別収集の利点

戸別収集の導入は、クリーンステーションの諸問題を解決

クリーンステーション収集における課題

- ・ 動物に汚される⇒動物被害による清掃対応
- ・ 禁止されている事業系ごみの排出
- ・ 他地区の居住者によるごみの排出
- ・ 近隣住民に実質的に維持管理の負担を強いている
- ・ 設置場所調整トラブル（輪番制を含む）
- ・ 景観への悪影響、心理的負担

5年10年先も同じような維持管理が可能か？

(2) 現行の収集における課題と戸別収集の利点

【動物被害事例】



(2) 現行の収集における課題と戸別収集の利点

戸別収集の導入は、クリーンステーションの諸問題を解決

戸別収集の利点

- ・ 排出者が明確になり、燃やすごみの中の資源物の混入が少なくなる
- ・ 高齢者や乳幼児を抱える世帯のごみ出しが容易になる
- ・ 高齢者世帯については安否確認に寄与する
- ・ 1人ひとりの責任感が高まり、ルール違反が起こりにくくなる
- ・ 事業系ごみの混入を排除できる
- ・ クリーンステーション周辺の美化につながる

(3) 戸別収集の対象とする分別の区分について

全品目への拡大を目指しつつ、
動物被害が起きやすくネットボックス等の維持管理負担が生じている

「燃やすごみ」



を優先



※「燃やすごみ」は週5日のうち2日排出できる品目であるため、
負担軽減の効果は大きい

(4) 戸別収集する地域について

**人員・車両手配等の制約から一部地域を対象に先行実施
全市展開にあたっては、市民生活が混乱しないよう十分配
慮**

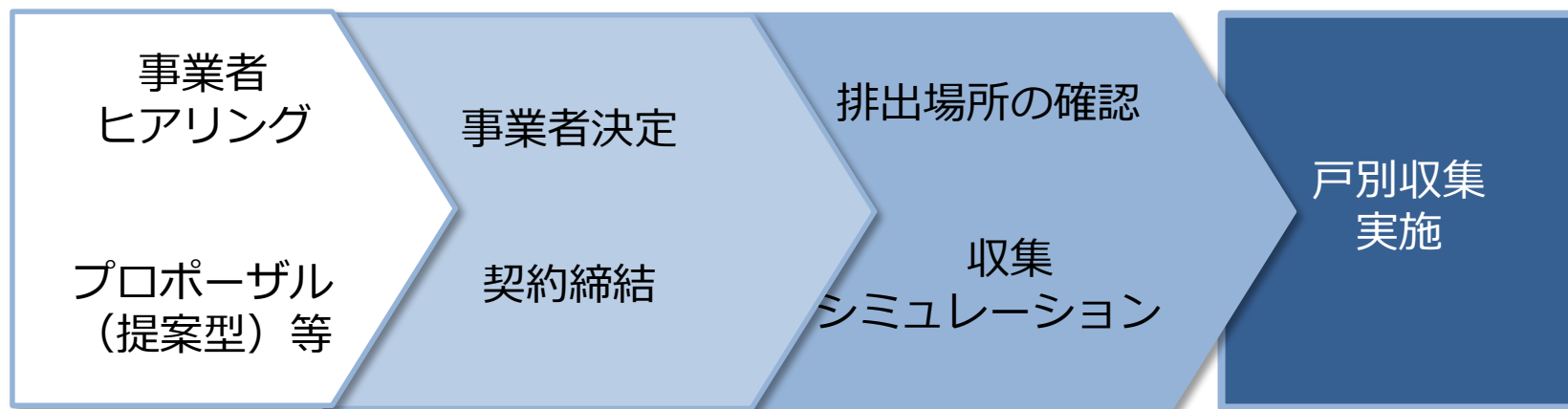
地域選定にあたる優先項目は以下のとおり。

- ① 高齢者や子育て世帯の居住割合
- ② モデル事業実施など円滑な導入が期待できるエリア
- ③ 施設までの運搬距離が短いなど、制度導入当初に市職員が即座に対応できる環境
- ④ 収集日や収集量の偏りを是正し、平準化に寄与するエリア

(5) 事業者選定について

単なる入札ではなく、提案型等の事業者選定を通じてサービスレベルを確認
十分な準備期間を設け、円滑な戸別収集への移行を実現

■ 事業者選定から戸別収集実施までのフロー



(6) 収集方法について

場所の特性やクリーンステーションの状況を考慮し、
様々な収集方法を検討

■ 検討すべき主な場所の特性

狭隘地区

共同住宅

区画整理された
住宅地

観光客が多い

...



■ 主な検討項目

作業人数

使用する車種

搬入施設との
往復方法

収集箇所数

...

(7) 少量排出事業所への対応について

少量排出事業所についても有料で戸別収集を実施（登録制）

■ 対象

1回の燃やすごみの排出量が
20リットル以下の事業所



現在想定している具体的な進め方①

まずは…



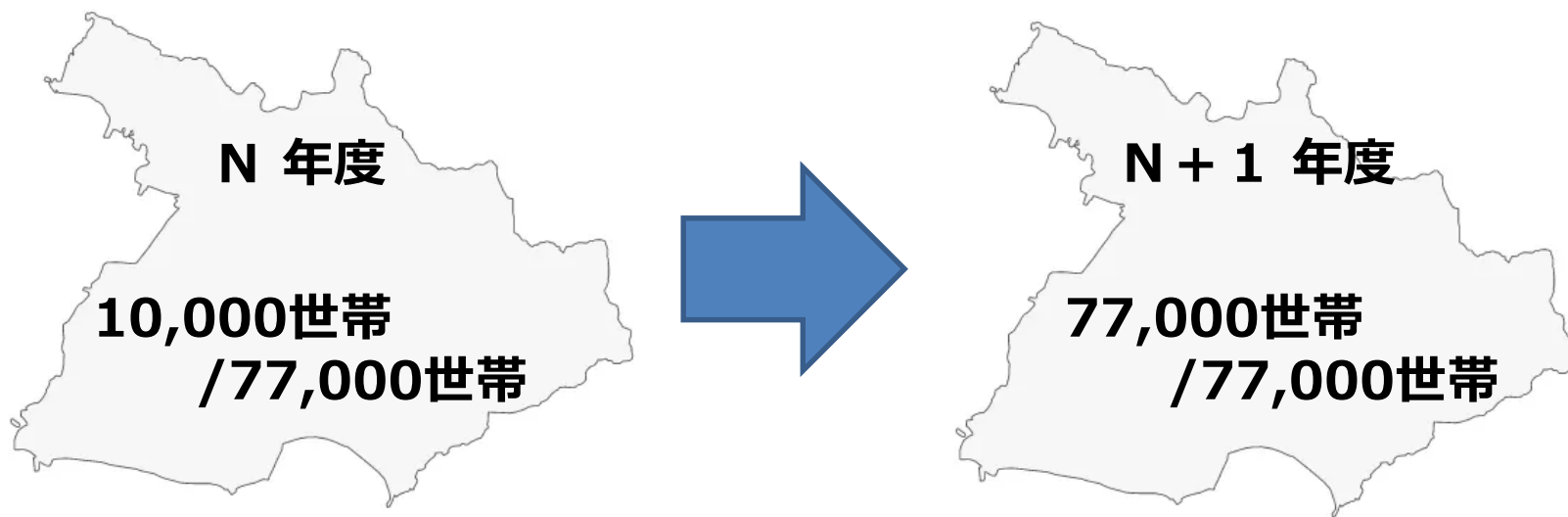
燃やすごみ



から開始

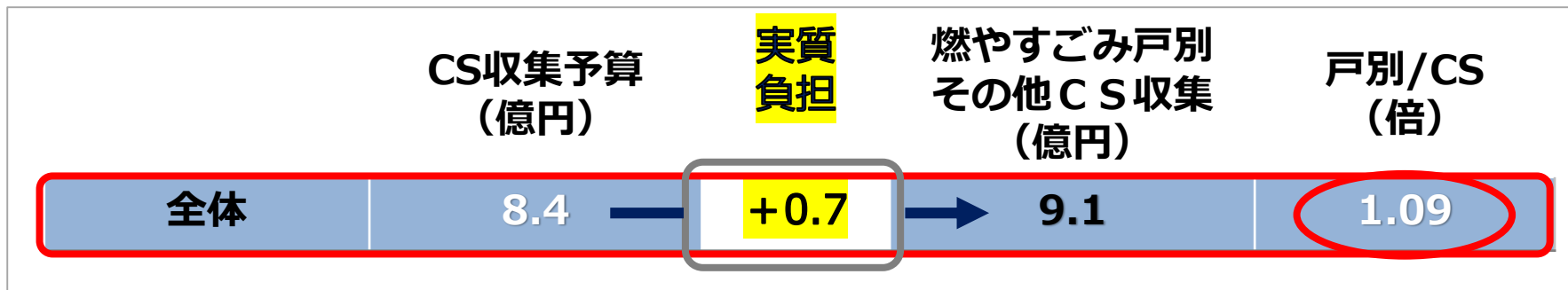
現在想定している具体的な進め方②

1万世帯から開始し、
その1年後に全市展開します



コスト

コスト（見込み）は…



実質負担の内訳

- * 1 R5予算の燃やすごみの収集経費
- * 2 H27積算額 7.2億円 ⇒ R5積算額 5.5億円 (▲1.7億円)
- * 3 家庭系有料袋歳入 (約3億円) の充当先見直し

戸別による増

- ・ CS→戸別 +3.2億 (2.3億*1→5.5億*2)

減額要素

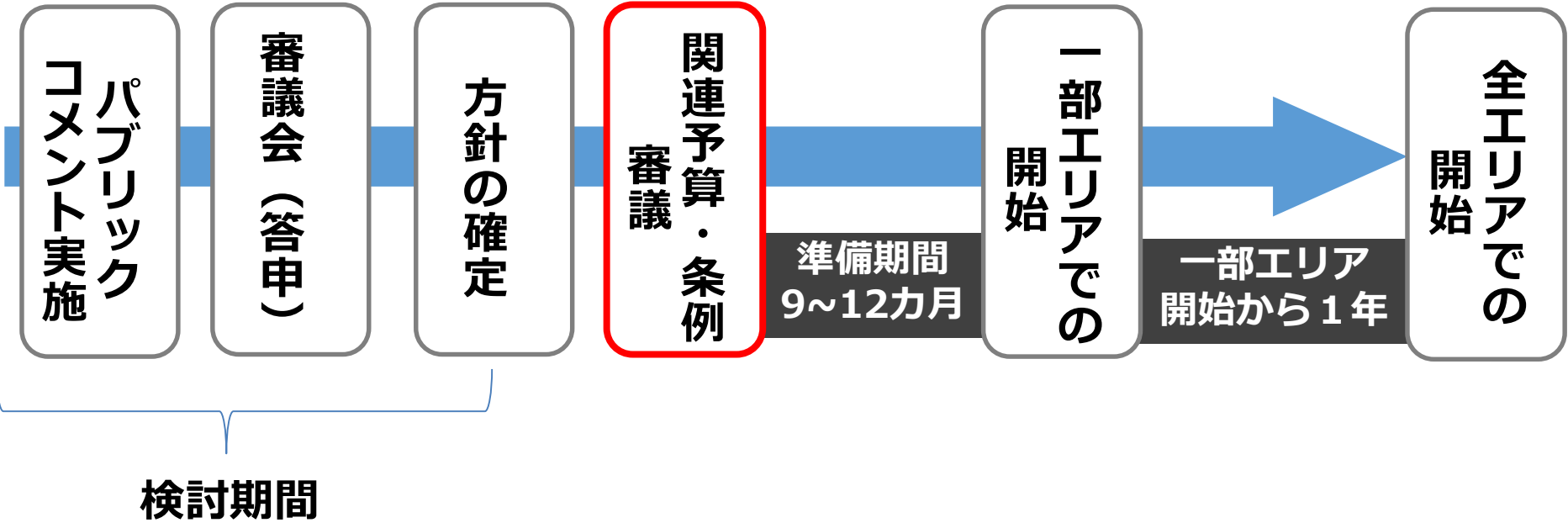
- ・ 燃やすごみ処理減 -1.1億
- ・ 既存収集見直し -540万

その他の増要素

- ・ 資源物処理増 +0.8億
- 歳入
- ・ 少量排出 0.2億
- ・ 家庭系有料袋 1.9億*3

今後の予定

↓現在↓



■ 葉山町排出状況



■ 葉山町排出状況



■ 藤沢市収集状況



■ 藤沢市収集状況



FAQ

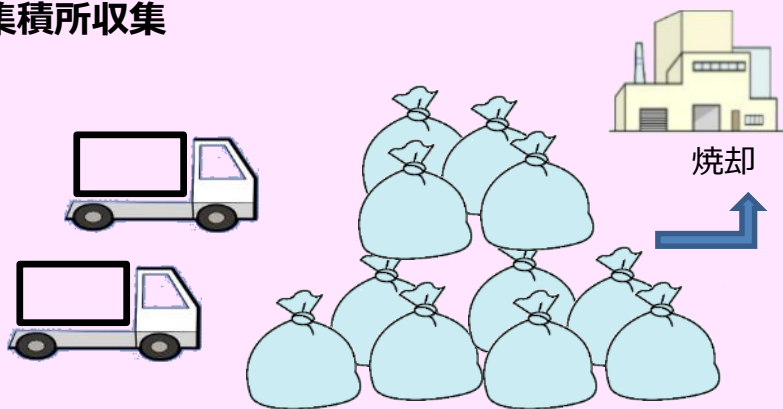
Q

戸別収集になると排気ガスが増加すると思いますが、その数値は算出していますか。

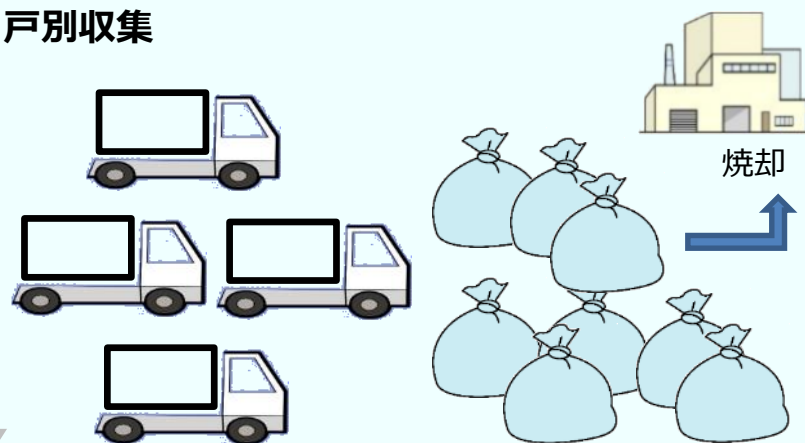
A

- 収集車両増加に伴うCO2増よりも燃やすごみの減量効果によるCO2排出量減少が見込まれます。
- 車両からのCO2排出量は今後減少が見込まれます。

集積所収集



戸別収集



車両が2倍になる場合、**+約110トンのCO2** 約700トンの減量場合、**▲約270トンのCO2**

車両台数が2倍でも▲約160トンのCO2

FAQ

Q

車両が増えて渋滞が問題ないか？

A

- ◆ 変わらない・・・・・・・・・・ **78.5%**
- ◆ どちらともいえない・・・・・・・・ **15.2%**
- ◆ 増加した・・・・・・・・・・ **2.7%**
- ◆ 緩和した・・・・・・・・・・ **2.3%**



モデル事業実施時のアンケートでも、**渋滞が増加したと答えた人は、2.7%**であり、**多くの方が変わらない78.5%、どちらともいえない15.2%、緩和した2.3%**と答えており、懸念される渋滞の問題はないと判断しています。

FAQ

Q

ごみ箱が家の前に設置されるのは、景観が悪くなるのでは。

A

- ◆ 戸別収集で景観が良くなった・・・**44.0%**
- ◆ 戸別収集で景観が悪くなった・・・**17.9%**



モデル事業実施時のアンケートでは、**景観が悪くなったと答えた方は17.9%**いましたが、**良くなったと答えた方が44.0%**となっており、良くなったと感じられる方が上回る結果となりました。

モデル事業実施時には、動物被害を避けるため、それぞれのご家庭に応じた動物被害対策を講じており、多くのご家庭ではバケツなどに入れて排出されていました。袋をそのまま置くような出し方はほぼ無いことを考えると、景観への影響も抑えられると考えています。

FAQ

Q 地域の治安は？**A**

- ◆地域の治安に変化はない・・・**71.2%**
- ◆地域の治安が悪くなった・・・**2.5%**



モデル事業実施時のアンケートでは、**71.2%の方が変化はない**と答えており、**2.5%の方は悪くなった**と答えていました。

また、モデル事業当時、警察や先行自治体にも確認した結果、戸別収集により犯罪が増えたということはありませんでした。

FAQ

Q

車両が増えて事故が増えるのでは？

A

市中を走行する車両が増えるものの、安全性を最優先に車両や人員の割振りを検討しています。

車両や人員の効率的な運用を極端に追求するために、安全性が確保されない状況はあってはならず、**1台の車両に3人が乗車するなど周囲の安全確保を最優先に体制を構築**してまいります。

なお、モデル地区では、懸念されるような事故は発生していません。

FAQ

Q

ごみ出し時間は？



A

収集日当日の朝8：30までであれば、各ご家庭の都合で前日の夜などに出していただいても構いません。

ただし、各ご家庭の責任の下で、動物対策をお願いします。

FAQ

Q

戸別収集開始時にすることは？

A

- ごみを出す際に使用する動物対策用のごみ箱、衣装ケースなどをご用意ください。
- ご自宅の敷地内で道路に面した排出場所を確保してください。

出し方の例は次のとおり⇒

出し方の例



衣装ケース



バケツ



フック



編みかご



ネット

FAQ

Q

共同住宅の排出方法に変更はありますか？

A

・既に共同住宅専用のクリーンステーションがある場合
⇒そのまま同じクリーンステーションを利用いただきます。

・専用のクリーンステーションが無い場合
⇒当該共同住宅専用のクリーンステーションを設置し、専用クリーンステーションからは戸別収集対象品目のみ回収し、他の資源物は従来から利用されているクリーンステーションから回収します。

FAQ

Q

共同住宅のメリットは？

A

- ・燃やすごみを対象品目と考えた場合
⇒クリーンステーションに燃やすごみが無くなり、街が綺麗になる。
- ・通勤、通学等の外出時に動物等に荒らされたクリーンステーションの側を通らなくてよくなる。
- ・中小規模共同住宅で近隣の戸建住宅と共用のクリーンステーションを使用している場合
⇒戸別収集により排出場所が分かれ、以前より排出が容易になる。

パブリックコメントについて

募集期間 令和6年2月22日（木）～3月22日（金）

提出できる方 市内在住・在勤・在学者や本市に納税義務がある方など

提出方法 郵送、FAX、メール、回収箱に投函、ごみ減量対策課窓口へ提出